

稲城野草散策の会

野草スケッチ ウンラン（ゴマノハグサ科）



1991/08/24 新潟県聖籠町 絵と文 Ta

20代の趣味はもっぱらハワイアンバンドだった。

ひょんなことからスチールギターを手に入れたのがきっかけだが、最初の頃は楽器をやる仲間もいなかった。

会社の寮で、教則本を見ながら頼りなげな音を出して練習していたとき、その年

会報第93号 2012年9月30日発行 発行責任者 尼子 房夫

の新入生が部屋を尋ねてきた。
大学でハワイアンバンドをやっていたといって、スチールギターを弾き始めた。
私とは音の出し方がぜんぜん違う。私にはプロ並みの演奏に聞こえた。

彼をリーダーにしてハワイアンバンドを結成したのはそれから間もなくである。
寮にいた先輩が、それならオレもとウクレレを出してきた。
自分では弾けないので使ってくれとギターを貸してくれた人もいた。
皆で金を出し合ってウッドベースを購入した。
しかしベースを弾ける人がいなかったなので、私が必死に勉強した。

労働組合主催のダンスパーティーに駆り出されたり、会社の講堂を借りての演奏会など、演奏機会は徐々に増えていった。
ちょうどベースをやっていた男が転勤で寮へ入ってきたので、ベースは彼に任せて、私はギター、ウクレレ、ラテンパーカッションと何でもこなした。
リーダーの手ほどきを受けて、スチールギターを人前で弾けるようにもなった。

バンドのオリジナル曲があるといいね、という話から、作曲も手がけた。
そんな頃、勤めていた会社で社歌を募集していた。会社は、コンピュータの某F社である。
最初に歌詞が従業員の応募の中から選ばれて、次に曲の募集に移った。
締め切りぎりぎりまで想を練って応募した。
なんと、私の作品が最優秀作に選ばれたのだ！！
これはうれしいなんてものじゃなかった。
補作曲・編曲は小林亜星、歌は加藤登紀子でレコードも作られている。
今でもF社では入社式などでこの歌が歌われているそうである。

F社には30年ほど勤めた後、関係会社へ出向になった。
その頃の趣味は、植物&スケッチになっている。
そこの技術ジャーナル誌の表紙に私のスケッチを載せたいという話があって、事務局が選んだのが、このウンランだった。
ようやくウンランに話を持ってこれた(^_^)

ウンランは海岸に生える。とうぜん、稲城市にはない。
ウンランを最初に見たのは茅ヶ崎の海岸だった。
雨で観察会が流れたときのことだ。

私の植物師匠、故曾根先生が、このまま帰るのもつまらないから茅ヶ崎へ行ってみないかと言い出した。

それならと、私が車を出して、7～8人で出かけたのであった。

幸い雨は上がって、砂丘の上で食事をとったとき、足元にウンランがあった。

ウンランは千葉県以北に分布しているとか。茅ヶ崎へは工事のときに持ち込まれたらしい。

海岸の植物は私には馴染みが薄かった。名前を知らないものが次々に出てくる。

多摩丘陵で固まってはいけない。海岸の植物も勉強する必要があると痛切に思った。

茅ヶ崎といえば桑田佳祐だ。

ひところ、「チャコの海岸物語」をカラオケでよく歌った。

しかし、カラオケよりは、自分で演奏したほうがはるかに楽しい。たとえ下手でも。

またバンドをやってみたいなど思うことがある。

いまでは、ときたまギターを取り出して爪弾いてみるだけになってしまったが・・・
(2000年8月記)

* * * * *

〔観察記録〕 8月19日 御岳山

集合場所の御嶽駅は、大変な数の乗客であふれかえっていました。ほとんどがレンゲショウマ目当ての人たちです。当然バス停も長蛇の列です。そのため、とりあえず参加者は各自バスとケーブルカーを乗り継いで、ケーブルカーの御岳山駅で再集合することとなりました。御嶽駅前のバス停だけでなく、ケーブルカーの滝本駅でも長蛇の列、私たちのグループは9時40分頃から並び始めて、御岳山駅にたどり着いたのが11時頃、最後の参加者が御岳山駅に到着したのは11時半頃となりました。

駅周辺の標高は830mほど、世話役の一人から「現在の気温は25℃くらい」と報告がありました。時折雲が日差しを隠すと、涼やかな風が流れ、この時期としてはかなり快適な観察会になりそうです。集合された方は32人、「お腹減ったー」という声もありましたが、駅前広場では歌や踊りでかなりやかましいので、とりあえずレンゲショウマを見てから昼食にしようということになり、駅裏の富士峰園地に向かいます。

この園地のロープで保護された斜面には5万本という謳い文句のレンゲショウ

マがちょうど見頃を迎えていました。レンゲショウマだけではなく、多くの山野草も観察できます。当然この園地も観光客であられかえっていましたが、参加者の皆さんのご協力で、スムーズに歩くことができました。ただ、32人の昼食スペースがなかなか見つからず、園地の一番上にある産安社の裏で、やっとささやかなスペースとささやかな日陰を見つけ昼食タイムとなりました。

御岳山の山頂近くにある御嶽神社は鎌倉期に再興された後、山岳信仰の地として崇敬され、関東一円の武士団から武具などが奉納されたそうで、その一部は現在では国宝や重要文化財となっています。また、江戸時代になると神社の御師によって多くの御嶽講が組織され、御嶽神社の信仰は庶民にまで拡大されたのだそうです。御師の住宅の一部は現存していて、建物は東京都の文化財に指定されています。ちょっと知ったかぶりをすると、御嶽神社などの御師は「おし」と発音しますが、伊勢神宮の御師だけは「おんし」と発音するのだそうです。

当初の予定では長尾平に向かうことになっていたのですが、混雑で出発時間が大幅に遅れたため予定を変更して、午後は反対側の大塚山に向かいました。大塚山は標高が920mほど、富士峰園地から平らな山道をしばらく歩き、山頂に近づいたところでちょこっと登りになる気楽なコースです。ただ、リーダー役の広沢さんの説明によると、もう少し標高の高い場所ではないと出てこないような、ミズナラやミヤマアオダモなどが見られる不思議なポイントなのだそうです。昼食前の富士峰園地では草本の観察がメインでしたが、大塚山では木本の観察がメインとなり、そういう意味ではバランスのとれた観察会になったと思います。

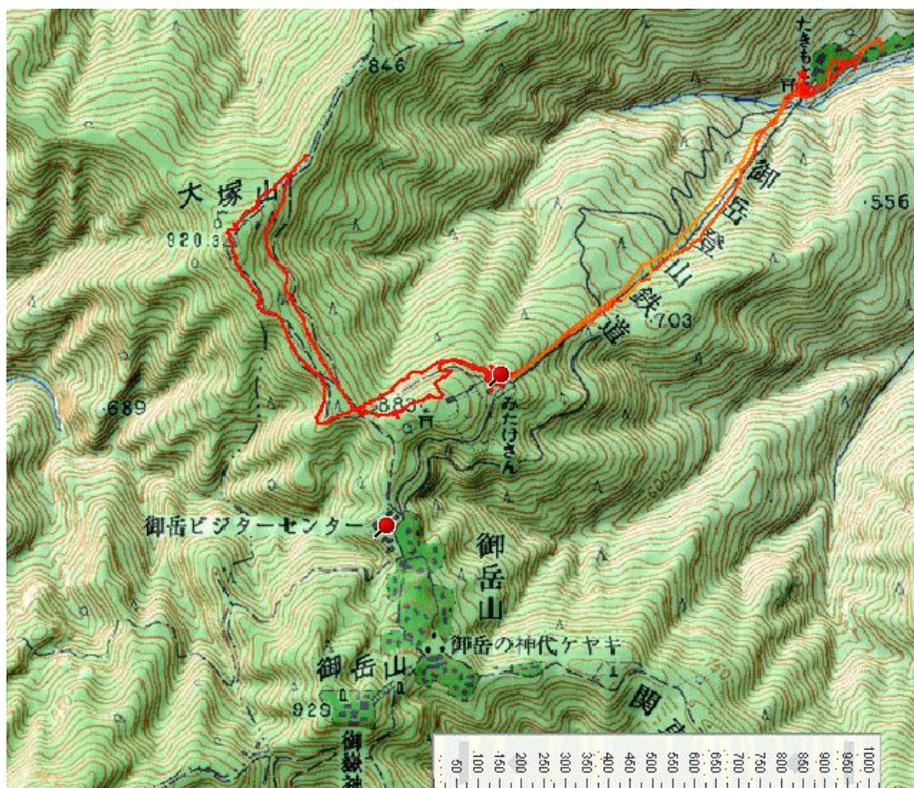
大塚山山頂からは10分ほど足場の悪い下りが続きます。山道が平坦になったところで、古里駅に下る道と、山頂を巻いて御岳に戻る平坦な道との分岐点に出ました。広沢さんはこの分岐点に気づかず古里駅の方に歩き始めましたが、気づいた連中が広沢さんと呼び戻して、無事に御岳山駅に戻ることができました。帰りもケーブルカー、バス共ども、行列ができていましたが、往路ほど待たされることはなく、1時間足らずで、御嶽駅に戻ることができました。(とーはもん)

▼観察記録（出現順）

ツリフネソウ(花)、タマアジサイ(花)、ミツバ(花)、ヤマジノホトトギス(花)、ノブキ(花)、ヒヨドリバナ(花)、ヤマトウバナ(花)、ミヤマタニワタシ(花)、ヒメキンミズヒキ(花)、アカショウマ、ヘビネゴザ、ゼンマイ、キヌタソウ(花)、ボタンツル(花)、ミツバウツギ、シシウド、コアジサイ(実)、ニガイチゴ、サルトリイバラ、レンゲショウマ、ヒメドコロ、サワフタギ、ソバナ(花)、オカトラノオ(花)、ノリウツギ、ガンクビソウ(花)、ツクバネソウ(花)、サラシナショウマ(蕾)、マムシグサ(実)、ノブドウ、オクモミジハグマ(花)、トチバニンジン(実)、キクバドコロ、

タカオヒゴタイ、ミヤマナルコユリ(実)、タニタデ(花)、モミジガサ(蕾)、オオバショウマ(蕾)、クマウラビ、クマイチゴ、カシワバハグマ(蕾)、ミスヒキ(花)、ハエドクソウ(花)、クサコアカソ(花)、ヤマノイモ(花)、ヤマヨツバムグラ(花)、カノツメソウ(花)、ヤマニガナ(花)、キカラスウリ、クロモジ、ミツバツツジ、サンカクヅル、ヒメヤブラン(花)、ツルリンドウ(花)、バイカツツジ(実)、ヤマユリ、ダイコンソウ(花)、タンナサワフタギ、アブラチャン、フクロシダ、ヤマツツジ、ツガ、マルバアオダモ、ダンコウバイ、ウリカエデ、サルナシ、リョウブ、ヤシャブシ、オヤマボクチ、マンサク、フクオウソウ、コバノガマズミ、サワシバ、マルバウツギ、ガクウツギ、タガネソウ、ミスナラ、ミヤマシキミ、アセビ、オトコヨウソメ、ガマズミ、コウヤボウキ、ハンショウツル、ツクバネウツギ、ミヤマアオダモ、ヤマウルシ、ムラサキシキブ、マルバハギ、オオバギボウシ(花)、コバギボウシ(花)、ワレモコウ(蕾)、シオデ、ヒメウワバミソウ、キバナアキギリ、ナガバノコウヤボウキ、ツルニンジン(蕾)、キヨタキシダ、ヘクソカズラ(花)、ツルニガクサ(花)、ウリノキ、マタタビ、ミヤマタニソバ(花)、タニタデ(花)、ヌスビトハギ、クマヤナギ、シラヤマギク(花)、コバノカモメヅル、クモキリソウ、タイアザミ(花)、オオアブラスキ、ノハラアザミ(花)、センニンソウ(花)、イヌシダ

当日のGPSデータ (T a)



〔行事予定〕 2012/9/30 (日) 大丸用水

項目	説明
集合	am10時、JR南武線南多摩駅 改札口付近 ※会旗目標 改札口は一個所だけです
交通	南武線はJR川崎駅と立川駅の間、多摩川に沿って走っています 南多摩まで川崎から約45分、立川からは約15分(乗換えなし) 電車は10分程度の間隔で運行されています(すべて各駅停車)
行く先 (解散場所)	JR南多摩駅 → JR矢野口駅(下の地図を参照ください) 矢野口駅 pm4時頃解散予定
見所 その他	今回は水草の観察をしたいと思います 水辺の環境と、畑・路傍などの乾燥地とで植生がどう違っているか、 観察するのも面白いと思います 大丸用水については、野草スケッチ「ミソソバ」のエッセーを参照 してください http://homepage3.nifty.com/inagiyasou/essay/e087.htm

地図



コース	南多摩駅～大丸堰～南多摩駅裏～大丸自治会館～北緑地公園～ニセアカシア～矢野口駅(解散) 行程5km程度、アップダウンはありません コースは天候その他により変更する場合があります ご用の方は途中で抜けても構いません
-----	---

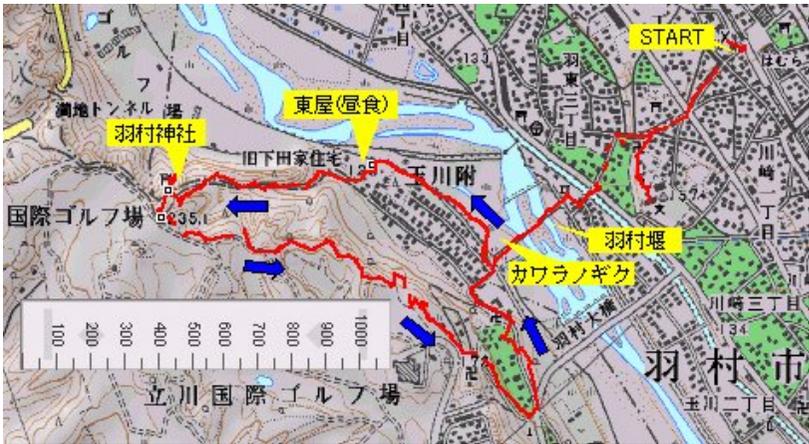
※小雨決行 参加申込み不要、会費当日300円

〔行事予定〕 2012/10/21 (日) 三浦・黒崎の鼻

項目	説明
集合	京浜急行線・三崎口駅 改札口付近 am10時 ※会旗目標 改札口は一個所だけです
交通	京浜急行線品川駅から快速特急三崎口行き8:37発、三崎口駅9:52着。または快速特急三崎口行き8:47発、三崎口駅9:59着 をご利用下さい。
行く先 (解散場所)	黒崎の鼻から三戸海岸を観察して、京浜急行線三崎口駅 pm4時頃解散予定
見所 その他	目玉はソナレマツムシソウ。海浜植物が観察出来ます
地図	
コース	三崎口駅→黒崎の鼻(昼食)→三崎口駅(解散) コースは天候その他により変更する場合があります

※小雨決行 参加申込み不要、会費当日300円

〔行事予定〕 2012/11/10 (土) 草花丘陵

項目	説明
集合	am10時、JR青梅線羽村駅 改札口付近 ※会旗目標 羽村駅の改札口は一個所だけです
交通	JR青梅線青梅特快 立川発9:35 羽村着9:55があります 立川～羽村は、約20～25分です
行く先 (解散場所)	草花丘陵(一回りして羽村駅へ戻ります)(下の地図を参照ください) 羽村駅にてpm4時頃解散予定
見所 その他	羽村市のボランティアが保護しているカワラノギクが見ごろです カワラノギクの分布は多摩川と相模川の一部に限られています 他に、コシオガマ、コウヤボウキ、ヤマゼリ、タイアザミなどの花 や各種木の実が見られます
地図	
コース	<p>羽村駅→羽村堰→河原(カワラノギク保護地)→羽村市郷土博物館 (昼食)→羽村神社→ゴルフ場に沿った散策路→羽村大橋→羽村堰 →羽村駅(解散:4時頃)</p> <p>行程4～5km程度です 多少のアップダウンがあります コースは天候その他により変更する場合があります</p>

※小雨決行 参加申込み不要、会費当日300円